

令和4年度 事業報告書

I 事業の状況

1 事業の実施状況

小児の医療・保健及び福祉の向上に寄与することを目的として、令和4年度も引き続き、設立来の重点事業である「小児の健康並びに疾病の成因、診断、治療及び予防に関する研究助成」と若手の小児科医や小児医学研究者育成のための「海外留学フェローシップ事業」の推進、加えて臨床研究を対象として社会医学的研究（疫学・統計含む）の支援も行った。また「小児医学・医療・保健に関する優れた研究論文に対する褒賞事業」等に加え、広報啓発活動としてオンラインによる「市民公開講座」を開催するなど、小児の保健と福祉の向上に努めた。

(1) 研究助成事業

① 小児医学領域全般に関する研究助成金

過去3年間において当財団の研究助成金を受けていない者で、次の条件に該当する者を対象とした。

- ・ 日本国籍を有する小児科の基礎的研究、臨床研究等に従事する令和4年12月31日時点で50歳未満の医師・研究者
- ・ 若手の小児科医師及び小児医学研究者を優先することから原則として教授及び研究機関等の部長級以上の者を除く

当財団の選考委員会で審議し、理事会の承認を経て交付対象者を決定した（交付対象者は、6頁記載のとおり）。令和4年度の応募者は47名、交付対象者は5名で採択率は11%であった。

② 妊産婦・乳幼児・小児の栄養に関する研究助成金

過去3年間において当財団の研究助成金を受けていない者で、次の条件に該当する者を対象とした。

- ・ 日本国籍を有する小児科医師及び小児栄養に関する研究者で、令和4年12月31日時点で50歳未満の者
- ・ 若手の小児科医及び小児栄養研究者を優先することから原則として教授及び研究機関等の部長級以上の者を除く

当財団の選考委員会で選考し、理事会の承認を経て交付対象者を決定した（交付対象者は、6頁記載のとおり）。令和4年度の応募者は6名、交付対象者は2名で採択率は33%であった。

③ 小児の社会医学的研究（疫学・統計含む）に関する助成金

過去3年間において当財団の研究助成金を受けていない者で、次に該当する者を対象とした。

- ・ 日本国籍を有する小児医療・保健、周産期医療・保健に関する臨床・疫学研究に従事する令和4年12月31日時点で50歳未満の者
- ・ 若手の小児科医を優先することから原則として教授及び研究機関等の部長級以上の者を除く

当財団の選考委員会で選考し、理事会の承認を経て交付対象者を決定した(交付対象者は、6頁記載のとおり)。令和4年度の応募者は7名、交付対象者は5名で採択率は71%であった。

(2) 海外における研究に対する助成(海外留学フェローシップ)

① 小児科領域全般に関する基礎的研究や臨床研究

海外の研究機関等において、標記の研究に一定期間(原則1年以内)従事する40歳未満(令和4年12月31日現在)の日本国籍を有する小児科医・小児医学研究者を対象とした。当財団の選考委員会で選考し、理事会の承認を経て交付対象者を決定した(交付対象者は、6頁記載のとおり)。令和4年度の応募者は8名、交付対象者は2名で採択率は25%であった。

② 子どもの心の問題に関する基礎的研究や臨床的研究

海外の研究機関等において、標記の研究に一定期間(原則6か月以内)従事する40歳未満(令和4年12月31日現在)の日本国籍を有する小児科医・小児医学研究者を対象とし募集したが、令和4年度の実応募者はなかった。

(3) 優秀研究論文褒賞(優秀論文アワード)

下記の和文誌及び欧文誌に令和4年1月号から令和4年12月号に掲載された論文の原著著者で令和4年12月31日時点で40歳未満の小児科医師・研究者を対象とした。

論文掲載誌の発行学会からの推薦を受け、当財団の選考委員会で選考し、理事会の承認を経て4名の受賞者を決定した(受賞者は7頁記載のとおり)。

ア 対象研究論文

(ア) 小児医学領域全般に関する研究論文

(イ) 発達障害等の心の診療領域に関する研究(福山・加我アワード)

イ 論文掲載誌(和文誌、欧文誌)

(ア) 日本小児科学会機関誌である「日本小児科学会雑誌」(和文誌)および「Pediatrics International」(英文誌)から各1名

(イ) 日本小児神経学会機関誌「脳と発達」あるいは「Brain & Development」から1名

日本小児精神神経学会機関誌「小児の精神と神経」あるいは日本小児心

身医学会機関誌「子どもの心とからだ」から1名

(4) 研究助成成果発表及び授賞事業

第125回日本小児科学会学術集会開催期間中に、令和2年度研究助成金受賞者18名による研究成果のポスター発表をWeb配信で行い、加えて財団のホームページ上に令和4年6月より7月まで公開した。

(5) 広報活動事業

① 市民公開講座のWeb開催

「子どものアレルギー疾患」をテーマに市民公開講座を、財団ホームページ上で無料動画配信にて行った(8頁のプログラムの通り)。

・配信期間：令和4年10月1日～令和5年3月31日

・アクセス総数：132,686件(参考：前年度66,326件)

② ニュースレター(子どもたちの世紀)の発行

第27号(令和4年4月1日号)

第28号(令和4年11月1日号)

II 会議等の開催状況

1 理事会

○令和4年6月6日(月)オンライン開催

議決事項

第1号議案「令和3年度事業報告書(案)」について

第2号議案「令和3年度財務諸表(案)」について

第3号議案「令和4年度定時評議員会の開催」について

第4号議案「松井陽先生寄附金200万円の特定資産への移動」について

第5号議案「加我牧子先生寄附金300万円の特定資産への移動および福山幸夫研究助成等支援基金との合算で「福山・加我支援基金」を新設すること」について

審議結果

出席理事7名全員の賛成により可決、承認。

報告事項

1. 研究助成金使用期限延長申請について

2. 賛助会員数の推移について

3. 市民公開講座に対する行政団体の後援について

○令和5年3月13日(月)オンライン開催

議決事項

第1号議案「令和5年度事業計画書(案)」について

第2号議案「令和5年度収支予算書(案)」について

第3号議案「令和4年度研究助成金等の選考結果」について

第4号議案「倫理的妥当性に関する問題」について

第5号議案「加我牧子先生からの追加寄附金700万円を『福山・加我アワード』に追加積立する件」

審議結果

出席理事7名全員の賛成により可決、承認。

報告事項

1. 「理事長及び常務理事の職務執行状況報告」について

2 評議員会

○令和4年6月27日（月）オンライン開催

決議事項

第1号議案「令和3年度事業報告書（案）」について

第2号議案「令和3年度財務諸表（案）」について

審議結果

参加評議員5名全員の賛成により可決、承認。

報告事項

1. 「令和4年度事業計画書および令和4年度収支予算書」について

3 企画運営委員会

○令和4年5月23日（月）オンライン審議

会議内容

① 令和3年度事業報告書（案）について

② 令和3年度財務諸表（案）について

③ 加我牧子先生からの寄附金運用について

④ 松井陽先生支援基金の理事会承認について

報告事項

① 研究助成金使用期限延長申請について

② 個人・法人の賛助会員数推移および新規会員数

○令和5年2月28日（火）オンライン開催

会議内容

① 令和5年度事業計画書（案）について

② 令和5年度収支予算書（案）について

③ 令和4年度研究助成金等の結果報告について

④ 令和4年度選考委員会での意見について

⑤ 理事・監事・評議員の改選について

⑥ 加我牧子先生からの追加寄附の用途について

⑦ 市民公開講座の閲覧中間報告について

4 選考委員会

○令和5年2月6日（月）オンライン会議

- ① 令和4年度研究助成金交付対象者の選考
- ② 令和4年度海外留学フェローシップ受賞者の選考
- ③ 令和4年度優秀論文アワード受賞者の選考

Ⅲ その他

1 寄付金の受入れ

法人 10 法人

（公社）日本小児科学会、アサヒグループ食品（株）、武田薬品工業（株）、中外製薬（株）、日本マクドナルド（株）、JCRファーマ（株）、ノボノルディスクファーマ（株）、（株）コレスポンド、（株）オグラ、ファイザー（株）

個人 2名

加我牧子、松永雅道

2 賛助会員(令和5年3月31日現在)

法人会員 7 法人

アサヒグループ食品（株）、（医社）メディカル・プロ、エーザイ（株）、第一三共（株）、（株）ナチュラルサイエンス、Story of the tortoise（株）、Meiji Seika ファルマ（株）

個人会員 329名、市民公開講座等個人会員 16名

以上

令和4年度研究助成金交付対象者一覧表

小児医学領域全般研究助成金
(応募者 47名)

計5名

	名前	所属	役職	課題名
22-001	後藤 隆之介	長野県立こども病院、東京大学医学部 附属病院小児科	小児科 専攻医	Adolescents of Ukraine During the 2022 Russian Invasion (AUDRI) Cohort
22-002	滝澤 慶一	東京大学医学部附属病院 小児科	助教	尿中細胞外小胞の網羅的アプローチによる低出生体重児関連腎 症の新規バイオマーカー探索と早期診断法の開発
22-003	宮本 幸	国立成育医療研究センター 薬剤治療研究部	上級 研究員	髄鞘変性症に対する新規治療標的因子の探索
22-004	上坂 直史	東京医科歯科大学大学院医歯学総 合研究科認知神経生物学分野	教授	発達期の歯周病が脳機能に及ぼす影響とメカニズムの解明
22-005	吉田 健一	国立がん研究センター研究所がん進展 研究分野	分野長	小児がんPDXのゲノム解析による新規治療標的の探索

妊産婦・乳幼児・小児の栄養に関する研究助成金
(アサヒグループ食品研究助成金) (応募者 6名)

計2名

	名前	所属	役職	課題名
22-006	野口 優輔	東京医科歯科大学大学院医歯学総 合研究科発生発達病態学小児科	大学院生	一絨毛膜双胎の子宮内発育から小児期のより良い栄養を考える
22-007	河合 智子	国立成育医療研究センター 研究所 周産期病態研究部 胎児発育研究室	室長	母体血清Vitamin D量と児のDNAメチル化値の関連解明

小児の社会医学的研究助成金 (疫学・統計含む)
(応募者 7名)

計5名

	名前	所属	役職	課題名
22-008	小原 隆史	岡山大学病院救命救急科	研究助教	人工呼吸器管理を要する重症小児患者のER/ICU関連因子と長 期アウトカムに関する追跡調査 (多施設共同前向き研究)
22-009	森宗 孝夫	滋賀医科大学小児科学講座	助教	リアルワールドデータを用いた新型コロナウイルス流行後の小児疾患 の発症頻度調査
22-010	石塚 一枝	国立成育医療研究センター社会医学 研究部	研究員	10代のやせとレジリエンスに関する全国調査
22-011	佐々 美保	東京大学大学院医学系研究科国際 保健学専攻 国際保健政策学	博士後期 課程学生	日本における公的統計を用いた小児・周産期指標の疫学的探索と その評価指標の再評価及び検討
22-012	岩谷 祥子	大阪大学大学院連合小児発達学研 究科こころの発達神経科学講座	助教	幼児期の睡眠に関連する生活習慣と運動精神社会的発達並びに 客観的脳指標との関連

海外留学フェローシップ (小児医学全般)
(応募者 8名)

計2名

	名前	所属	役職	課題名
F22-001	藤田 あさひ	東京大学大学院 医学系研究科	大学院生	小児緑内障の個別化医療実現に向けた治療効果評価および予 後予測モデル構築
F22-002	伊佐 真彦	京都大学医学部附属病院小児科	医員	未報告の自己炎症性疾患を通じた新規のヒト免疫恒常性機構の 解明

令和4年度優秀論文アワード

- ① 小児医学研究振興財団アワード和文誌（公益社団法人日本小児科学会雑誌）

岩丸良子 済生会川口総合病院小児科

2週間健診時に評価した母親の産後うつ傾向リスク因子

日本小児科学会雑誌 126 巻(2022 年), 7 号 1011-1017 原著

- ② 小児医学研究振興財団アワード欧文誌（Pediatrics International）

山口有紗 社会福祉法人子どもの虐待防止センター

The coronavirus disease 2019 pandemic and the rights of the child in Japan.

Pediatrics international 64 巻(2022):e14913

- ③ 福山・加我アワード（一般社団法人日本小児神経学会 機関誌）

石井隆大 久留米大学医学部医学科小児科学講座

The Japanese version of the children's sleep habits questionnaire (CSHQ-J): A validation study and influencing factors

Brain and Dev2022; 44: 595-604

- ④ 福山・加我アワード（一般社団法人日本小児精神神経学会 機関誌）

多門裕貴 医療法人社団増田厚生会清川遠寿病院

社会的コミュニケーション症の診断に向けた特性に関する検討

小児の精神と神経, 2022; 62 (1): 79-85

開催時期：令和4年10月1日～令和5年3月31日 無料公開中！

子どものアレルギー疾患

令和4年度小児医学研究振興財団 web市民公開講座

座長



子どものアレルギー疾患

埼玉県立小児医療センター病院長
座長 岡 明 (おか あきら)

講演

1



子どものアレルギー疾患：総論

国立成育医療研究センターアレルギーセンター長 大矢 幸弘 (おおや ゆきひろ)

講演

2



アトピー性皮膚炎の予防と治療

杏林大学医学部小児科学教室教授 成田 雅美 (なりた まさみ)

講演

3



気管支喘息の管理

東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科教授 勝沼 俊雄 (かつぬま としお)

講演

4



食物アレルギーの予防と治療

さいたま市民医療センター小児科診療部長 西本 創 (にしもと はじめ)

web市民公開講座は <http://www.jfpedres.or.jp/2022.html>



無料

- 主 催：(公財)小児医学研究振興財団
- 後援：厚生労働省、(公社)日本小児科学会、日本製薬団体連合会、(公社)日本医師会、(公社)日本小児科医会、(公社)日本小児保健協会、(公社)こども環境学会、(公社)日本新生児成育医学会、(一社)小児精神神経学会、(一社)日本外来小児科学会、(一社)日本学校保健学会、(一社)日本子ども虐待防止学会、(一社)日本小児アレルギー学会、(一社)日本小児感染症学会、(一社)日本小児救急医学会、(一社)日本小児神経学会、(一社)日本小児心身医学会、(一社)日本保育保健協議会、(公財)日本学校保健会、(公財)母子衛生研究会、(社福)日本保育協会
- 協賛：日本マクドナルド(株)、(株)ファイザー、(株)オグラ
- 特別寄付者：松井 陽



公益財団法人小児医学研究振興財団
JAPAN FOUNDATION FOR PEDIATRIC RESEARCH

〒110-0015 東京都台東区東上野3-32-2 廣瀬ビル4B
Tel:03-5818-2601 FAX:03-5818-2602
e-mail:web@jfpedres.or.jp

(公財)小児医学研究振興財団は日本の若手小児科医へ研究費・海外留学費を支援しています。